

## 全身型若年性特発性関節炎における

### TCZ 導入後のマクロファージ活性化症候群発症のリスク因子の検討

研究・実務責任者 所属 リウマチ科 職名 部長  
氏名 中岸 保夫  
連絡先電話番号 078-945-7300

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、中岸までご連絡をお願いします。

#### 1 対象となる方

2006年1月1日から2024年12月31日までに当院にて全身型若年性特発性関節炎と診断され、TCZによる治療を受けた方

#### 2 研究課題名

全身型若年性特発性関節炎における TCZ 導入後のマクロファージ活性化発症のリスク因子の検討

#### 3 研究実施機関

兵庫県立こども病院

#### 4 本研究の意義、目的、方法

全身型若年性特発性関節炎(s-JIA)は発熱、皮疹、肝脾腫などを呈する自己炎症性疾患と考えられており、その病態にはIL-6やIL-1 $\beta$ 、IL-18が関与しているとされている。s-JIAには致死的な病態であるマクロファージ活性化症候群(MAS)をしばしば合併することが知られており、特に急性期には注意が必要である。治療にはステロイドを中心とした抗炎症が主となるが、難治性の症例には抗IL-6受容体抗体であるトシリズマブ(TCZ)が使用されており、有効性が報告されている。しかしTCZの使用中でもMASの合併の報告があり、特にTCZ導入直後は注意が必要だが、どのような症例でTCZ導入後にMASを発症してしまうかは依然として不明である。そこで今回はTCZを導入したs-JIA症例のMAS発症リスク因子を検討することを目的とする。

#### 5 協力をお願いする内容

カルテ上にある既存の臨床情報と血液検査結果を使用する。

## 6 本研究の実施期間

登録期間：臨床研究等倫理審査委員会承認後～2028年3月31日

## 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

リウマチ科 科長 中岸 保夫 連絡先電話番号 078-945-7300（平日9:00-17:00）

以上